



小牧市民病院 副院長

松本 修一

市民病院の
上手なかかり方



風邪を引いたら市民病院へ？

昔と違って、現在は市民病院でなければいけない患者さんの診療で手一杯で、軽症の患者さんを診療する余裕は少なくなっています。

電子カルテ導入に伴う一人一人にかかる診察や説明時間の延長など、一定時間に診療できる患者さんの数には限りがあります。来院するすべての患者さんを診療しようとする、手術ができない外科医やお産・手術ができない産婦人科医などが誕生するのです。

コンビニ受診は自分の首を絞める

24時間営業しているコンビニエンスストアと同様に、24時間開いている救急外来に自分の都合で受診することを「コンビニ受診」といいます。

市民病院の救急外来は、尾張北部医療圏で唯一の第三次救急指定病院です。第三次救急とは、すぐに処置を要する重症患者さんを診療する救急外来です。通常の経過をたどるインフルエンザ患者さんを診療する機関ではありません。

コンビニ受診が増加すると、あなたが心筋梗塞で倒れた時、緊急処置で救命できるはずのあなたの命が危険にさらされるのです。

19年前にアメリカ高官が警告した日本の医療

1992年当時、既に先進国最

低の医療費とスタッフ不足という環境下で、WHOから「世界一」の評価を得ていた日本の代表的な医療施設として、国立がんセンターを視察したアメリカ保健福祉省（日本の厚生労働省に相当）サリバン長官は「こんな医療はアメリカでは到底真似できない」と意気消沈してアメリカへ帰っていきました。19年前、サリバン長官はボロボロに疲れきった勤務医の姿を見て、日本の医療は優れているどころか、いずれ崩壊するだろうと予言しました。

医療の役割分担・病診連携

市民病院の大事な使命は、市民病院でなければできない病気の診断・治療です。そのために優秀な医師を雇用し、高機能な診断・治療設備を整えています。風邪やインフルエンザなどの軽症感染症、五十肩、高血圧症などの慢性疾患には診療所がその力を発揮します。

市民病院では病診連携に力を入れており、市民病院のホームページから「地域連携登録医療機関」に入ると、各医療機関の概要・院長・地図・得意分野などの情報を得ることが出来ます。

緊急の受診が必要でない場合は、まず診療所を受診し、必要な場合は診療所から市民病院の予約を取ってもらい、紹介状を持って市民病院を受診してください。その後、

病状が安定したら再度診療所で受診してください。
症状別自己対応の目安

	家で様子を見る	診療所を受診	救急車で搬送
頭痛	自制内(我慢できる)	自然に軽快	激烈で持続
意識障害	意識清明	少しぼんやり	意識なし
麻痺	麻痺なし	指先だけ麻痺	突然の腕・足の麻痺
けいれん	軽快	1~5分持続	5分以上持続
めまい	自制内(我慢できる)	めまいのみ	嘔吐・嘔気・頭痛を伴う
発熱	体温 37 ~ 38℃	発熱のみ	頭痛・嘔吐・呼吸困難を伴う
呼吸困難	自制内(我慢できる)	唇・爪の色が赤い	唇・爪の色が黒い
胸痛	自制内(我慢できる)	体温 37 ~ 38℃	激烈で持続、または他の症状あり
腹痛	自制内(我慢できる)	他の症状なし	激烈で持続、または他の症状あり

市民病院の役割

市民病院が使命として掲げている医療は、①高次医療の提供②地域がん診療連携拠点病院としてのがん診療③救急指定病院としての救急医療④地域のセンター病院としての地域連携です。市民病院は「地域連携登録医療機関」と協力・役割分担して、地域の医療を支えます。市民病院が崩壊しないように皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問合先 市民病院 (☎76-4131)